

東日本大震災の被災者へ必要物資の提供を続ける「ふんばろう東日本支援プロジェクト」（代表・西条剛央早大大学院講師）の活動を後押ししようとして、岡山市内で応援組織が発足した。インターネットを活用して同プロジェクトをPRし、被災地支援へ協力を呼び掛けている。（池葉須則夫）

震災被災者へ物資提供活動

岡山に応援組織

同プロジェクトは、小規模避難所や個人宅に身を寄せている被災者が必要としている物資の情報をホームページ（HP）に載せ、支援したい人に直接送ってもらっている。継続的に支援している避難所・宅は宮城、岩手、福島県を中心に800カ所を超える。また被災者の自立に向け、現地で需要のある重機免許を無料で取得できるように支援金も集めている。

発足した応援組織は「ふんばろう東日本支援プロジェクト@岡山情報ステーション」@岡山。メ



今後の活動について話し合うメンバー
＝岡山市

メンバーは、西条代表と知や助教、スクールカウ
り合いの大学院准教授、ンセラ、農業関係者

大学院助教ら HPで発信、講演会計画

ら5人。被災地から離れた場所においてもできる支援があることをアピールし、岡山県内をはじめ西日本でも活動の輪をさらに広げたい。

先月上旬にHPを立ち上げ情報発信を開始。メンバーはブログや会員制交流サイト（SNS）でも活動について紹介している。今後は被災地支援のあり方を考える講演会開催も計画する。

④岡山の設立を呼び掛けた岡山大大学院保健学研究科の大浦まり子助教は「支援金や支援物資の提供など、できることが限られているが、被災者は少しの力でも必要としているので行動に移してほしい」と話している。

⑤岡山のアドレスは
http://funbaro-okayama.jindo.com/

被災地の支援活動紹介

岡山高島屋 ユニセフ写真展開幕



ユニセフが東日本大震災の被災地で行っている支援活動を知らせる写真展（日本ユニセフ協会、岡山ユニセフ協会共催）が、岡山市北区本町の高島屋で始まった。フォトジャー

おいしい米実って

岡山・開成小 アヒルなど放

岡山市東区金田の開成小学校5年生が6日、アヒル農法による米作りを体験するため、近くの「開成ふれあい農園」で田植えをし、ひなを放した。



来館者が夢二の少年時。8月7日まで。

ふんばろう東日本支援プロジェクト@岡山情報ステーション

児童26人と保護者、地域住民が参観。同農